

「公文備考」

日本海軍は毎年、部内の報告、訓示、また往復文書など公文書類を項目別に分類して海軍省官房の文庫に保存していた。その中の一つが「公文備考」である。以下、史料の経緯と内容についてその概要を紹介する。

一 接収と返還

いわゆる太平洋戦争において、これら公文資料の一部は山梨県北巨摩郡小笠原村海軍省葦崎分室に疎開、普通文書（公文備考）は東京帝国大学付属図書館に移管されていた。終戦の際に軍令事項のものはほぼ全部が焼却されたといわれているが、疎開・移管文書は焼却を免れ、一九四五（昭和二十）年十月、アメリカ軍に接収された。

当時、同大学付属図書館に勤めていた一女性が、アメリカ軍に接収されるときの思いを「大正七年 公文備考 艦船 卷四三」空欄末頁に、次のように書き残している。

菊田 慎典

「お念^マねがひ致します。

私は大日本帝國大學圖書館に務めて居る物で御座居ます。

日本は今迄一番良い國だと申して折りましたのが、今度は破戰國と成つてしまいました。日本の此の一女性の話を聞き下さいませ。

今帝大から此の戦争に関する本は全部、マッカーサー司令部の方が先日御調べに来て居らっしゃいましたが、今度、米國へ持って行かれるさうです。そして毎にちだんだんと本棚はからっぽに成り本当に淋しいです。

此の本は皆米國の方の大学の圖書館に入るさうです。

どうぞ皆様、米英國の皆様、今迄の戦争は皆國民も悪いと思います。

どうぞ軍隊が悪い、兵隊さんが悪^マと言はずに此の本もはるばる幾日も掛けて米國へ行つたのですから大切に読んで下さいませ。

どうぞおねがひ致します。

此の本一冊作るのにもずい分手数が掛つて折ます。

では米國英國の御方達大切にして下さいませ」

このような思いを込めて接收された文書は、ワシントン国務省公文書部に保管され、講和条約締結後の返還交渉の結果、一九五八（昭和三十三年）年、日本に返還された。

二 海軍省公文書中の公文備考

(一) 沿革

従来、海軍省公文書類の編纂は、海軍創設以後一八八二（明治十五年）迄は「公文類纂」であって、毎巻首に件名目録を提示し、又、別に「類纂便覧」を設けてあった。

一八八三（明治十六）年以後は、主として「公文提要」「公文備考」及び「公文雑輯」の三種に大別し、「提要」には法規例蹤のものを採り、「備考」「雑輯」には一時的処分に属するものを収めた。

その目録は、「提要」に対しては毎件事項を摘記し類に従って列載し毎年一冊を作り、「備考」「雑輯」には一々件名を挙げず毎巻首に類目のみを掲げて装丁した。以上の書冊のほか、「祕事提要」及び「艦船製造書類等ノ別輯」があった。

(二) 返還史料

海軍省官房文庫に、どれだけの公文書類が保存されていたかは明らかでない。

現在、防衛庁防衛研究所が保管している海軍省公文書返還史料の総数は一万五百余冊であり、うち「公文備考」は五、三三四冊である。返還史料の種別と編纂年代の概要は次のとおりである。

(注：明は明治、大は大正、昭は昭和を示す)

・ 公文類纂	明元年～	明十五年
・ 公文備考	明九年	昭十二年
・ 公文原書	明九年～明十五年	
・ 公文備考別輯	明十四年	明三十三年
・ 原書類纂	明十四～十五年	
・ 普号通覧	明十六年～明十八年	
・ 受号通覧	明十六年～明十八年	
・ 公文雑輯	明十九年～明四十年	
・ 職員進退録	明二十年	昭三年
・ 公文書類	明二十一年～明二十八年	
・ 外駐員報	明三十年	大九年
・ 公文雑輯別輯	明三十一年	
・ 武往文	明三十三年	昭十一年
・ 公文別輯	明四十年	
・ 外出報	大五年～大八年	

三 「公文備考」目録

年代とともに若干の変更がなされているが、一九二九（昭和四）年以後の「公文備考」の目録は、次に示すとおりである。

(符号 分類名称 部門 款 の順)

A 法令

- (0) 官規 (1) 人事 (2) 儀制 (3) 教育 (演習)、檢閱
- (4) 交通、保安 (5) 艦船、航空、兵器 (6) 醫事
- (7) 會計 (物品)、工勞務及土木建築
- (8) 警戒計畫、法務 (9) 外事、會議、團體、法人、其他

B 人事

- (0) 官職等級 (1) 文限服役 (2) 補任考課
- (3) 身上取扱 (4) 位勳褒賞 (5) 徵募
- (6) 召集及離現役 (7) 恩給 (8) 退職賞与、一時賜金
- (9) 雇員備人

C 儀制

- (0) 皇室儀禮 (1) 海軍儀禮 (2) 部外一般儀禮

D 外事

- (0) 國際儀禮 (1) 國際往復 (2) 國際會議
- (3) 外国人及法人 (4) 外国艦船、航空機 (5) 外国情報
- (6) 外国間ノ問題、事件 (7) 外国間ノ戦争、紛擾

E 教育 (演習) 檢閱

- (0) 學校教育 (附) 新兵 (1) 一般教育 (2) 部外者教育
- (3) 演習 (4) 檢閱 (5) 兵術的實驗、研究 (6) (7)
- (8) 教範、術語

F 艦船

- (0) 造修、試驗、檢查 (1) 實驗、研究

- (2) 搭載物品數額 (3) (4) 役務行動

G 航空

- (5) 雜役船、微備船舶
- (6) 艦船艇 (雜役船ヲ除ク) 除籍、處分
- (7) 諸報告其ノ他 (8) 酒保
- (0) 航空兵器 (1) 工作廳 (2) 航空隊、航空機搭載艦船
- (3) 航空術教育訓練
- (4) 飛行場 (着陸水地) 航空路、航空氣象
- (5) 海軍以外ノ航空 (6) 航空往復文 (7) 統制及研究
- (8) (9)

H 物品 (除兵器)

- (0) 通常物品 (1) 兵備品 (除兵器) (2) 特殊物品
- (3) 資源調査、燃料研究
- (4) 物品 (除兵器) 部外下附、讓渡、貸借 (5)

I 兵器 (除航空兵器)

- (0) 造修、試驗、檢查 (1) 實檢、研究
- (2) 裝備 (艦船以外) (3) 供給、試用、貸與
- (4) 保管、運搬 (5) 處分 (6) 火藥 (7) (8) (9)

J 警戒計畫

- (0) 警戒取締 (1) 水路設備、計畫
- (2) 一般港灣、沿岸取締 (3) 戰時計畫 (4) (5)

K 土木建築

L 會計
(0) 工事 (1) 国有財産 (2) (3)

(0) 金銭會計 (1) 物品會計 (2) (3)

M 醫事

(0) 醫務 (1) 衛生 (2) 防疫 (3) 防抗毒 (4) (5)

N 法務

(0) 刑事訴訟關係 (1) 監獄關係 (2) 懲罰、懲戒關係

(3) 恩赦關係 (4) 民事訴訟 (5)

(6) 法務關係諸報告、起案類 (7) (8) (9)

O 官衙

執務 工務務
(0) 官衙 (1) 執務、事務 (2) 工務務

P 會議

(0) 立法、軍事會議 (1) 各省會議 (2) 關係諸會議

(3) 部內會議 (4) 海軍主催ノ部外者合同會議

(5) 調査會、委員會、研究會 (6) 其ノ他の諸會議 (7)

Q 通信

交通 氣象 (時)
(0) 通信 (1) 交通 (航空關係ヲ除ク) (2) 氣象 (時)

(3) (4) (5)

R 文書 新聞 歴史

(0) 文書圖書 (兵備品ヲ除ク) (1) 請願、陳情

(2) 新聞、雜誌 (3) 情報、通報 (4) 歴史、沿革 (5)

(6) (7)

S 團體 法人

(0) 海軍軍人軍族關係 (1) 在郷軍人關係

(2) 青少年處女關係 (3) 軍務、国防關係 (4) 海軍關係

(5) 航空關係 (6) 史跡記念關係 (7) (8)

T 事件 戰役

(0) 事件 (1) 災害、事故 (2) 戰役

以上、第一級資料に位置するこれら諸記録は、現在、防衛研究所戦史史料閲覧室において、誰もが閲覧できる。